

ヒトの多様性、お互いの違いを受け入れるべきこと
—宗教・政治思想・信条・家訓・感性など—

仕事をする上だけでなく、同じ社会に生きるヒトとして、最低限守るべきものがあり、またそれを守ればそれ以上のことは単なる応用で大丈夫ということがあります。

それは、介護業務という面から見れば下記の私たちの理念がそれですが、もっと大きく見れば「互いの違いを受け入れる」と言うことではないでしょうか。

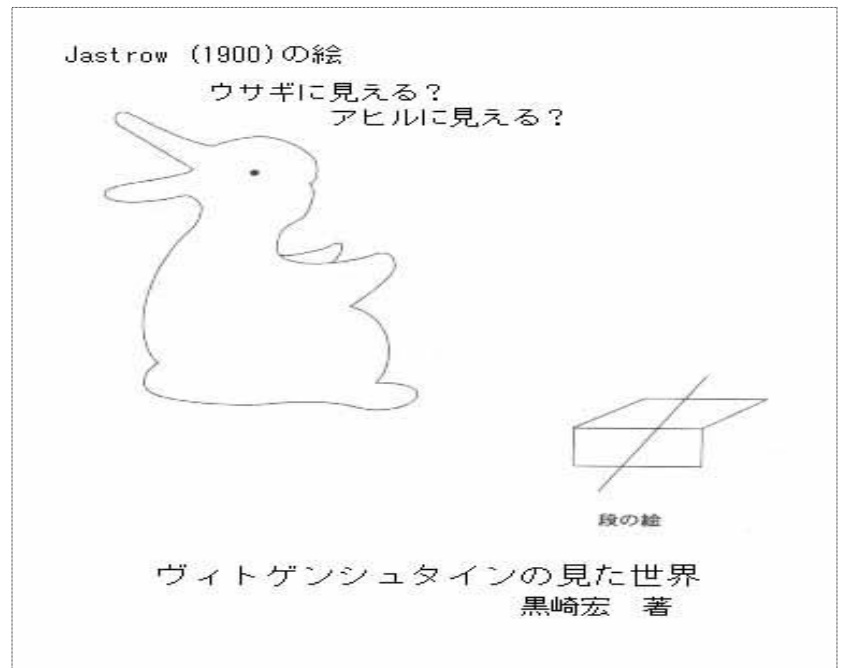
「坊主憎けりや袈裟まで憎い」、
と言います。こういう感情は無理
に抑えなくても良いわけですが
かといって野放図に出すべきも
のではありません。「親しき仲に
も礼儀あり」で理性でコントロ
ールする必要があります。

すべてのヒトと仲良くする
というのは不可能な訳ですが、その
場合お互いに適度の距離感を保
つことは出来るのではないでし
ょうか。

上の絵は地球上の一人一人が
受け取り方が違うと言うことを絵で表したものです。特に右下の絵は受け取り方は無限大
です。紀元前の孔子の頃から「心ここに在らざれば視れども見えず聞けども聞こえず食ら
えどもその味わいを知らず」と言います。

目の前にあるもの、感じることに、一人一人違った受け取り方・感じ方があるのを心か
ら受け入れられるようになれば、介護の極意を習得したことにもなるし社会に共に生きて
いくことのコツを習得したことにもなります。

ヒトの多様性を受け入れる、この基本の考え方を忘れないようにしましょう。



老人保健施設一羊館の理念

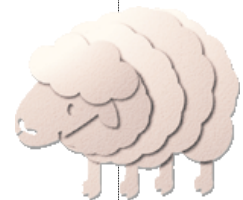
利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者の QOL・職員の QOL・健全経営の 3 立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制します。